

企業会計

副業に対する支援（月額）

A	貸家（病院事業会計）	収 入	3万8,000円
		支援額	1万2,000円
		支出額	5万1,000円

※収入＋支援額の合計5万円は、支出額より1,000円少なくなりますが、不足分は内部の貯金で補っています。

B	貸家（水道・工業用水道事業会計）	収 入	2万9,000円
		支援額	3,000円
		支出額	3万6,000円

※収入＋支援額の合計3万2,000円は、支出額より4,000円少なくなりますが、不足分は内部の貯金で補っています。

合 計		収 入	6万7,000円
		支援額	1万5,000円
		支出額	8万7,000円

うち
副業への支援
家族へ仕送り
7万7,000円

特別会計

家計が別な家族（子ども夫婦宅）への仕送り（月額）

A	交通費（市民バス会計）	収 入	1,000円
		仕送額	1,000円
		支出額	2,000円

B	食費・保険料（国民健康保険会計）	収 入	7万8,000円
		仕送額	1万円
		支出額	8万8,000円

C	光熱水費（下水道会計）	収 入	2万6,000円
		仕送額	2万1,000円
		支出額	4万7,000円

D	家賃（介護保険会計）	収 入	7万2,000円
		仕送額	1万3,000円
		支出額	8万5,000円

E	医療費（後期高齢者医療会計）	収 入	8,000円
		仕送額	1万6,000円
		支出額	2万4,000円

F	施設利用費（介護サービス事業会計）	収 入	6,000円
		仕送額	1,000円
		支出額	7,000円

合 計		収 入	19万1,000円
		仕送額	6万2,000円
		支出額	25万3,000円

副業でアパート（企業会計）を経営していますが、健全な経営を行うため必要な支援を行っています。

また、家計が別な子ども宅（特別会計）は食費・保険料や光熱水費が増え、家計が厳しく、仕送りを得ながら生活しています。

もし、美唄市の令和元年度 予算を 家計簿に置き換えたとしたら…

問合せ 企画財政課財政係 ☎ 63～0135

例えば、給料月収30万円の家庭に置き換えてみると、こうなります。



一般会計



収入の部

給料（市税、地方交付税など）	30万円（67%）
うち基本給（市税）	6万円（14%）
うち諸手当（地方交付税など）	24万円（53%）

親などからの援助 （国・道からの補助金）	9万3,000円（20%）
-------------------------	---------------

貯金の取り崩し （繰入金）	4,000円（1%）
------------------	------------

銀行などからの借金 （市債）	3万5,000円（8%）
-------------------	--------------

貸したお金の返済金 （貸付金元利収入）	1万7,000円（4%）
------------------------	--------------

合 計 44万9,000円

貯金残高（財政調整基金） 2万5,000円

支出の部

食費（人件費）	7万3,000円（16%）
---------	---------------

光熱水費など（物件費など）	6万4,000円（14%）
---------------	---------------

医療費（扶助費）	7万9,000円（18%）
----------	---------------

家族への仕送りなど （繰出金、扶助費）	10万8,000円（24%）
------------------------	----------------

家や車の購入・改修 （建設事業費など）	4万9,000円（11%）
------------------------	---------------

銀行への借金返済 （公債費）	5万5,000円（12%）
-------------------	---------------

友人などへ貸すお金 （貸付金）	1万6,000円（4%）
--------------------	--------------

貯金（積立金）	5,000円（1%）
---------	------------

44万9,000円

借金残高 44万9,000円

銀行に返済する額が5万5,000円であるのに対し、銀行から借りる額は3万5,000円。前年度より借金残高が減り、残高は44万9,000円となりました。今後も借金を減らすように努めます。（前年度借金残高46万9,000円）

給料30万円のうち、基本給（皆さんから納めていただいた市税）は2割弱の6万円です。一方、手当の中でもっとも大きいのが地方交付税で、全体の7割近くを占めています。

これは、会社の経営状況（国の財政状況）の影響を受け給料が大きく変動する可能性があり、収入が安定しにくいことを意味しており、毎年同じような状況になっています。

貯金の残高は2万5,000円（前年度貯金残高2万8,000円）。何か不測の事態が起こった時のため、今後も十分な金額の確保に努めます。

公営企業会計

会 計 名		収益的収支		資本的収支		事業の概要	
		収 入	支 出	収 入	支 出		
病院事業 会 計	予算現額	15億7,176万円	16億4,397万円	2億7,370万円	3億74万円	入院	22,205人
	収入・支出済額	15億926万円	12億9,508万円	1億6,772万円	1億9,922万円	外来	44,098人
	収入・執行率	96.0%	78.8%	61.3%	66.2%	計	66,303人
水道事業 会 計	予算現額	6億5,368万円	6億1,216万円	2億5,880万円	4億8,657万円	総給水量(H30.4～H31.3月)	259万6,934㎡
	収入・支出済額	6億4,941万円	5億8,133万円	2億3,824万円	4億6,587万円	給水戸数(H31.3月現在)	1万1,490戸
	収入・執行率	99.3%	95.0%	92.1%	95.7%	給水人口(H31.3月現在)	2万1,288人
工業用水道 事業会計	予算現額	6,384万円	6,645万円	5,550万円	6,728万円	総給水量(H30.4～H31.3月)	7万7,126㎡
	収入・支出済額	5,536万円	5,843万円	2,718万円	3,891万円	給水事業所数 (H31.3月現在)	13
	収入・執行率	86.7%	87.9%	49.0%	57.8%		



市債の現在高

会 計 名	金 額	構成比
一 般 会 計	161億2,603万円	51.0%
特 別 会 計	113億2,262万円	35.8%
下 水 道 会 計	113億2,234万円	
介護サービス事業会計	28万円	
公 営 企 業 会 計	41億5,941万円	13.2%
病 院 事 業 会 計	3億354万円	
水 道 事 業 会 計	36億2,184万円	
工業用水道事業会計	2億3,403万円	
市 債 現 在 高	316億806万円	100.0%

※市債とは、世代間の負担の公平の観点から、道路や学校等長い年月使用する施設を建設する場合などに発行（借入れ）するもので、上記金額は、今後償還しなければならぬ3月末現在の元金残高です。

一時借入金の現在高

会 計 名	金 額	構成比
一 般 会 計	9億5,000万円	76.0%
特 別 会 計	3億円	24.0%
公 営 企 業 会 計	0円	0.0%
病 院 事 業 会 計	—	
水 道 事 業 会 計	—	
工業用水道事業会計	—	
合 計	12億5,000万円	100.0%

※一時借入金とは、年度内の不足資金に対して一時的に銀行などから借入れているものをいいます。

市有財産の状況

不 動 産	行政財産	土 地	277万3,009㎡
		建 物	19万9,071㎡
	普通財産	土 地	1,053万6,158㎡
		建 物	2万630㎡
物権	地 上 権		892㎡
動 産	有 価 証 券		3億1,556万円
	出 資 に よ る 権 利		1億6,661万円
	債 権		11億4,043万円
	財 政 調 整 基 金		8億6,563万円
	農 業 振 興 基 金		4,808万円
	減 債 基 金		2,661万円
	青 少 年 育 成 基 金		1億536万円
	福 祉 基 金		2億7,439万円
	文 化 基 金		100万円
	交流拠点施設整備基金		1,578万円
基 金	安田侃彫刻美術館アルテ ピアッツァ美唄整備基金		649万円
	過疎地域自立促進特別事業基金		3億6,709万円
	医療等拠点施設整備基金		1,986万円



美唄市の財政事情

平成30年度下半期
(3月末現在)

問合せ 企画財政課財政係 ☎ 63～0135

市民の皆さんに市政の運営状況をご理解いただくため、財政事情を毎年2回公表することとしています。
今回は、平成30年度下半期（3月末現在）の「一般会計、特別会計と公営企業会計の予算執行状況」および「市有財産と市債の現在高」などをお知らせします。

予算の執行状況

一般会計

歳 入	予算現額合計	165億1,127万円	歳 出	予算現額合計	165億1,127万円
	収入済額合計	138億8,665万円		支出済額合計	144億729万円
	収入率	84.1%		執行率	87.3%

名 称	予算現額	収入済額	収入率
市 税	20億6,017万円	20億4,988万円	99.5%
地 方 譲 与 税	1億7,080万円	1億6,349万円	95.7%
地 方 交 付 税	68億7,585万円	68億95万円	98.9%
負担金・使用料	5億5,437万円	5億1,202万円	92.4%
国 庫 支 出 金	19億7,346万円	16億7,109万円	84.7%
道 支 出 金	18億8,552万円	12億5,823万円	66.7%
諸 収 入	8億5,561万円	5億9,154万円	69.1%
市 債	12億8,967万円	6,790万円	5.3%
そ の 他	8億4,582万円	7億7,155万円	91.2%

※市債の借入れは平成31年4月以降の出納整理期間に行われるため、予算現額に対し収入額が著しく少なくなっています。



名 称	予算現額	支出済額	執行率
議 会 費	1億473万円	1億348万円	98.8%
総 務 費	6億2,644万円	5億8,381万円	93.2%
民 生 費	29億5,424万円	27億1,690万円	92.0%
衛 生 費	6億7,375万円	6億3,093万円	93.6%
労 働 費	2,447万円	2,412万円	98.6%
農 林 費	15億3,797万円	8億9,343万円	58.1%
商 工 費	9億4,891万円	5億9,737万円	63.0%
土 木 費	13億4,626万円	12億920万円	89.8%
消 防 費	1億4,040万円	1億3,800万円	98.3%
教 育 費	9億2,144万円	8億6,941万円	94.4%
災害復旧費	30万円	0円	0.0%
公 債 費	20億1,043万円	20億521万円	99.7%
職 員 費	26億7,532万円	26億3,113万円	98.3%
諸 支 出 金	25億3,468万円	20億430万円	79.1%
予 備 費	1,193万円	0円	—

※予算現額、収入済額および支出済額には、歳入歳出ともに平成29年度からの繰越分と補正予算額を含みます。

特別会計

会 計 名	予算現額	歳 入		歳 出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
市 民 バ ス 会 計	3,922万円	3,250万円	82.9%	3,694万円	94.2%
国民健康保険会計	31億715万円	30億7,594万円	99.0%	30億2,325万円	97.3%
下 水 道 会 計	17億1,886万円	9億9,871万円	58.1%	16億4,758万円	95.9%
介 護 保 険 会 計	28億2,143万円	27億809万円	96.0%	27億3,910万円	97.1%
介護サービス事業会計	2億2,727万円	2億77万円	88.3%	2億2,256万円	97.9%
後期高齢者医療会計	8億1,510万円	6億6,029万円	81.0%	7億2,415万円	88.8%

